

令和6年度第5回鮫川村地域公共交通協議会会議録

<開催概要>

- 日 時：令和7年2月26日（水） 15:00～16:20
- 場 所：鮫川村公民館 大集会室
- 出席者：[鮫川村地域公共交通協議会委員]出席14名（うち代理出席3名）
[オブザーバー]2名（教育課長・こどもセンター副主幹兼事務長）
[事務局]4名
（村づくり推進室：船木室長、矢吹係長、佐藤主任主事、薄葉主事）
- 配布資料：第5回鮫川村地域公共交通協議会 次第等

進行：室長

《 次 第 》

1. 開 会

【事務局】

本日は大変お忙しい中、お集まりいただきありがとうございます。定刻になりましたので、ただ今より、令和6年度第5回鮫川村地域公共交通協議会を始めさせていただきます。

本日出席いただいております委員は、22名中、14名でございます。半数以上のご出席をいただいておりますので、鮫川村地域公共交通協議会設置要綱第9条第2項の規定により、本会議が成立しておりますことをご報告いたします。

なお、オブザーバーの各課長等6名のうち、本日2名が出席しております。それでは、本協議会会長の鈴木大介よりご挨拶申し上げます。

2. 会長あいさつ

【会長】

本日はお忙しい中、ご出席いただき、誠にありがとうございます。

振り返りますと、令和4年3月に最初の協議会を書面にて開催いたしました。約3年が経過し、委員の皆様のお力を借り、順調に進んできています。現在、運行しているデマンド交通は、多くの皆様のご協力がなければ、成り立ちません。村では人口減少や高齢化が進む中、高齢者が1人で外に出ることが難しくなってきています。そんな中、このデマンド交通のように安心して利用できる公共交通は、村に住み続けられる要因のひとつになっていると思いますし、住んでいる人達にとって重要だと思っております。

本日の協議については、内容が多くなっておりますが、委員の皆様の慎重審議よろしく願いいたします。

3. 協 議

報告第1号 令和6年度デマンド交通実証事業について

- ・令和7年1月までの鮫川村デマンド交通実証事業結果について
- ・共創・Maas 実証プロジェクト事業結果について

資料について事務局より説明

【委員】

システムについて場所はどこに設置しているか。

【事務局】

役場、すまいる、よろず休憩案内所、さぎり荘、たんぽぽの家、popo. I の村内6か所に設置している。

【委員】

将来的にはアプリ等を導入し、携帯電話等から予約できるような考えはあるのか。

【事務局】

アプリについて、現在様々な企業からのアプローチがあり、検討している。当初は電話予約のみとしていたが、たんぽぽの家のような障がい者施設からもアプリを導入し、携帯電話やタブレットから予約できるようにして欲しいと要望があるため、次年度以降検討していく。

【委員】

資料9ページに利用者の慣れとあるが、具体的にどのような部分か。

【事務局】

1年以上運行を継続していくなかで、利用者にも時間への強い要望や1か月以上先の予約、今すぐの迎え等、わがままな部分が出てきている。チラシ等を使用し、周知の徹底を行う。

【会長】

先日、委託している鮫川運送の社長にも伝えましたが、利用者からの苦情や要望については、乗務員ではなく、役場の方に直接連絡してもらい、役場にて対応するようにしていく。デマンド交通について、あくまでも公共交通であることを周知して村民の皆様のものと認識のうえでご利用していただきたいと考えている。

報告第2号 住民アンケート調査の結果

資料について株式会社ケー・シー・エスより説明

報告第3号 令和6年度決算予定の報告について

資料について事務局より説明

議案第1号 デマンド交通の利用料金について

資料について株式会社ケー・シー・エス及び事務局より説明

拍手多数にて承認

議案第2号 デマンド交通の運行形態の変更について

資料について事務局より説明

【委員】

人口の過疎化が進み、村外の移動について、タクシーのようなスポット輸送に切り替わっている。今後、近隣町村との連携を諮り、タクシー無料券の導入も検討して欲しい。

拍手多数にて承認

議案第3号 地域フィードシステム補助金申請に向けた地域公共交通計画の見直しについて

事務局より説明

拍手多数にて承認

議案第4号 宝木経由鮫川線について

事務局より説明

【委員】

延べ人数等の実績を聞き、想像より利用者がいる印象を受けた。石川町へデマンド交通も行っていないため、代替え等もなく、利用者が交通難民になってしまう恐れもある。

【会長】

石川町への代替えは考えているか。

【事務局】

現在考えていない。デマンド交通について、通勤通学時間帯の運行を行うことは、現状の形態では難しい。今後、学法石川高校や義塾中学校への通学利用がある可能性も含め、路線を無くすことは逆行していると考えている。

【委員】

必要な路線について、無くすことはできない。今後の衰退状況も鑑みながら、考慮していくことが必要。

【委員】

学校法人石川高等学校ではバスについて往復で使う利用者は少なく、水郡線の利用や他路線を利用して通学している。宝木経由鮫川線があることは、子ども達にとってもありがたいが、金額を聞くと継続も難しいと考える。少子化とのバランスもあるため、検討が必要。

【事務局】

本議案について、更なる議論が必要とのことから、宝木経由鮫川線の実績報告提出後に再度議論することとし、今回は議案取り下げとしたい。

【会長】

只今、事務局より本議案取下げの提案があった。皆様がよろしければ、取下げとし、次回以降の議案としたがよろしいか。

拍手多数にて承認

議案第5号 令和7年度事業計画および予算について（案）

資料について事務局より説明

拍手多数にて承認

4. そ の 他

次回協議会開催日 令和7年4月 予定

5. 閉 会